

昭和53年度 学位授与・単位修得論文

〔論文題目, 提出者氏名, (指導教官)〕

昭和53年度 博士課程単位修得論文

商学研究科

企業間関係の分析 手塚 公登 (宮川 公男)

経済学研究科

香港の経済とその労働事情 徐 明珠 (種瀬 茂)

外国貿易と低開発国の経済発展 佐竹 正夫 (小島 清)

賃金率の変化と要素代替との関連について 秋山 滋 (尾高煌之助)

アメリカ電機工業における独占形成と対外進出 小倉 信次 (種瀬 茂)

組合勢力と相対賃金効果 河合 栄三 (藤野正三郎)

不確実性の経済理論 許 定順 (藤野正三郎)

均衡の一意性とスラッフア体系 小林 進 (荒 憲治郎)

所得分布支出分布に関する一考察 佐伯 親良 (溝口 敏行)

社会的選択基準と経済厚生 の尺度 佐川 直人 (宮沢 健一)

我国勤労者世帯における富の分配の研究 富樫 光隆 (塩野谷祐一)

不確実性下における独占企業の在庫分析 春名 章二 (藤野正三郎)

A STUDY ON THE MARKET

ADJUSTMENT PROCESSES 丸山 雅洋 (荒 憲治郎)

企業組織と階層制 宮本 光晴 (藤野正三郎)

アダム・スミスの経済論と統治論 村松 茂美 (種瀬 茂)

戦前期我国造船業における企業定着労働力 小原 哲郎 (梅村 又次)

フランス農業における地域専門化の進展 小林 瞭史 (石川 滋)

旧中国占領地の「モノとカネ」分析 大竹 慎一 (中村 政則)

治水と農業 バンヤット・スラカンウィット (石川 滋)

敗戦前日本国家独占資本主義史の一視角 疋田 康行 (中村 政則)

戦国大名の権力基盤 池 享 (永原 慶二)

中世都市トゥールーズの領域政策 桂 秀行 (山田 欣吾)

1920・30年代の地主と農政	芝野 るみ	(中村 政則)
中世後期瀬戸内海における物資流通の研究	鈴木 敦子	(永原 慶二)
金融市場に対する規制の経済分析	高橋 俊治	(宮沢 健一)
租税帰着論の展開	長谷部秀孝	(江見 康一)
最適課税理論	御船 洋	(宮沢 健一)

法学研究科

白く咲かせよ太平洋のユリ	酒井 真理	(細谷 千博)
イギリス「議会主権」研究序説	坂東 行和	(堀部 政男)
行政の解釈行為に対する裁判的統制	山岸 敬子	(市原昌三郎)

社会学研究科

マルクスの生産分析の一考察		
——社会の物質性把握をめぐる——	中西新太郎	(岩崎 允胤)
<個人の全面発達>の社会学への序論	樋野 芳雄	(佐藤 毅)
ヘルグソン哲学の方法についての試論	桑田 禮彰	(鈴木 秀勇)
財閥と対「満州」中国侵略		
——三井物産の活動を中心に——	坂本 雅子	(藤原 彰)
清代華北白蓮教史——八卦教を中心に——	佐藤 公彦	(増淵 竜夫)
形式論理学の本質に関する弁証法的考察	島崎 隆	(岩崎 允胤)
マルクスの経済学批判の方法と形態規定の弁証法	平子 友長	(岩崎 允胤)
ロシア定期市の民俗学的研究		
——19世紀を中心として——	坂内 徳明	(長島 信弘)
生産的労働論序説	渡辺 雅男	(古賀英三郎)

昭和53年度 修士学位論文

商学研究科

数理計画法研究	高山 康男	(宮川 公男)
現代における企業行動理論の展望	尹 仁虎	(宮川 公男)
日米両国の資本コストの相対的比較	上野 正	(大成 節夫)
海運に於ける南北問題	黄 国英	(地田 知平)
先物取引に関する一考察	小山 良	(田内 幸一)
事業部業績測定に関する考察(上・下)	鳥居 宏史	(岡本 清)
社会・技術システム論の形成	神田 良	(田島 壮幸)
韓国(高麗)人参の貿易商品史的研究	金 忠義	(岩城良次郎)
広告目的設定における消費者心理	趙 顕哲	(田内 幸一)

経済学研究科

資本主義的市場経済の動態	湧上 敦夫	(二階堂副包)
ポスト・ケインズ派と企業成長理論	中村 仁彦	(荒 憲治郎)
成長と分配の新ケインズ派モデル	浅田純一郎	(荒 憲治郎)
A STUDY ON DISEQUILIBRIUM THEORY IN ECONOMICS	青木 正紀	(荒 憲治郎)
不確実性と危険の増大に関する一考察	榊原 健一	(時子山和彦)
「生産と消費の矛盾」と再生産表式分析的恐慌論	都留 康	(高須賀義博)
韓国の対日貿易構造の展開とその決定因	李 鍾允	(溝口 敏行)
養蚕地帯における経済更生運動の展開と構造	大門 正克	(中村 政則)
インドの労働移動 ——教育と人口圧力の視点より——	大野 昭彦	(石川 滋)
近効畑作地帯における地主経営の構成	佐藤 正広	(中村 政則)
ヘンリ・プランタジネット王家の国	都築 彰	(山田 欣吾)
19世紀フランスにおける製鉄産業 発展の一側面(上)(下)	中島 俊克	(渡辺 金一)
ブラジル資源開発と日本の協力	古賀・アルメニオ・富男	(小島 清)
フィリピン輸出の分析	マリア・ゼネイダ	

プリミシアス・アンガーラ (山沢 逸平)

法学研究科

戦争決定の理論的考察	金子 譲	(細谷 千博)
受刑者の人権	小松 哲	(福田 平)
夫婦平等と夫婦財産制	金 周得	(島津 一郎)
刑法解釈学への記号論理の応用に関する一試論	浜田 雄造	(福田 平)
フランスにおける労働者の団結禁止	桑原 時夫	(杉原 泰雄)
統一戦線論と中国の対外政策	中園 和仁	(細谷 千博)
フランスの職場占拠法理の展開	石井 保雄	(蓼沼 謙一)
ファイナンス・リース契約の研究	小林 剛明	(川井 健)
「チェコ事件」前後におけるスターリン主義の問題	岩田 賢司	(細谷 千博)
フランス革命期における平等理念の成立	大山 礼子	(杉原 泰雄)
小集団における決定過程の分析	菊池 努	(細谷 千博)
第3共和制における「代表制」について	竹内 康江	(杉原 泰雄)
放送衛星に関する国際法原則の諸問題	中村 恵	(皆川 洸)

社会学研究科

パーソンズ理論の研究		
——原問題意識の一貫性をめぐって——	江原 博次	(佐藤 毅)
「日本文化論」研究序説		
——『菊と刀』とそれをめぐる		
日本文化論を中心として——	寺沢 正晴	(佐藤 毅)
『諸国民の富』における「土地所有者」について	西沢 保	(都築 忠七)
マルクスにおける上向法の方法論的意義		
——抽象と具体の弁証法——	森川 孝吉	(岩崎 允胤)
ALICE AND MODERNITY		
——A Wüg of reading the Alice Books——		
	小川 雅魚	(増谷外世詞)
初期ディドロの「自然の解釈」		
——理神論から無神論へ——	寺田 元一	(岩崎 允胤)

大正デモクラシーと吉野作造の民本主義論

イケトット・スラジャヤ

(安丸 良夫)

第1次大戦初期の中国民族運動

——「21カ条要求」と中国民衆——

味岡 徹

(増淵 竜夫)

南京政権の関税政策 1928—37

久保 享

(増淵 竜夫)

日本ファシズムの形成と在郷軍人会

功刀 俊洋

(藤原 彰)

ソ連邦における新生産物価格形成の一考察

田畑 理一

(宮鍋 幟)

総力戦と軍部

吉田 裕

(藤原 彰)